

令和5年度 立川市・大町市中学生交流事業「中学生サミット」報告

【ねらい】

大町市制施行60周年・合併10年を機に実施された姉妹都市交流事業を継続的に発展、展開し、さらなる姉妹都市間交流を推進するため、立川市と大町市の中学生が集い、親睦と相互理解を深めるとともに、交流活動を通して、これからの未来を託す子供たちの健やかな成長と両市の一層の親善友好を図る。

【これまでの実績】

- <平成26年度> 大町市の市制施行60周年
- <平成27年度> 第1回中学生サミット (大町市開催)
- <平成28年度> 第2回中学生サミット (立川市開催)
- <平成29年度> 第3回中学生サミット (大町市開催)
- <平成30年度> 第4回中学生サミット (立川市開催)
- <平成31年度> 第5回中学生サミット (大町市開催)
- <令和2年度> 第6回中学生サミット (オンライン開催)
- <令和3年度> 第7回中学生サミット (オンライン開催)
- <令和4年度> 第8回中学生サミット (立川市開催)

【その年度の主な取組】

- 立川市の中学校吹奏楽部50名による記念演奏
- 立川市・大町市姉妹都市中学生サミット共同宣言
- 立川市の魅力に関する成果発表
- 北アルプス国際芸術祭の見学
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたPR
- 英語でのツアーガイド (体験活動、プレゼン制作)
- コロナ禍の生活に関する意見交換
- 新たな中学校生活を創造することについての提言
- オールイングリッシュによるSDGsの取組の発表

【共同宣言】

- 一、私たちは、この中学生サミットを通し、これからも立川市と大町市の交流をより深く、他の地域に発信していくことを誓います。
- 一、私たちは、両市の未来、都市と農村の共存について考え続けていくことを誓います。
- 一、私たちは、交流活動を通して得た、互いの市の特徴を生かし、さらなる発展に努めることを誓います。
- 一、私たちは、離れていても互いの助け合いの心を忘れないことを誓います。

<令和5年度> 第9回中学生サミット (大町市開催) 7月15日(土)～16日(日)

メインテーマ 「リアルな体験とリアルな交流を通して、SDGsの理解を共に深めよう」

保護者会・事前学習会 6月10日(土)

中学生サミット【1日目】 7月15日(土)

中学生サミット【2日目】 7月16日(日)

事後学習

サミットの一か月前に、保護者会と事前学習会を実施しました。



<対面式>

この二日間の目的や目標を確認しました。その後の昼食の団らんでは、さっそく積極的に交流を図りました。



<カヤック・SUP体験>

木崎湖でカヤックとSUP(スタンドアップパドル)を体験しました。水を直接肌で感じるアクティビティを通して、水の尊さを実感しました。



一緒にサミットに参加する仲間との初対面。最初は緊張していましたが、アイスブレイク等を通して、笑顔も増え、関係を築いていきました。



<水育体験学習・博物館見学>

「水の町・大町」として組まれている学習プログラムで体験・見学をしました。大町の豊かな水と、周囲の壮大な山々との関係に気がきました。



<解散式>

代表生徒が、二日間で学んだことと御礼を述べました。「この二日間だけで終わりにしたくない」という気持ちが、全員から表れていました。



SDGsを本当に達成できるのか、達成するためには何が必要なのか、グループに分かれて考え、それぞれの考えをまとめました。



<夕食・1日目のまとめ>

日中の体験等だけでなく、夕食時にも交流を存分に深めました。夕食後は1日目で学んだことをまとめました。まとめた後は、時間を余すことなく会話やゲームを通してさらに交流を深めました。



二日間を通して学んだことを参加生徒それぞれが作文としてまとめました。(以下、抜粋)
●仲間の大切さを学びました。相手を理解し、自分を理解してもらうことが、SDGsの目標を達成するカギになると思いました。
●SUP、カヤック体験では、実際に大町市の水に触れることができました。水の感触、匂い、そして周りの山々から聞こえる鳥の声など、五感を使ってより「水」への理解が深ったように感じます。
●「いつもより少し積極的に」を意識するようにしたら、お互いの学校のことや趣味のことについてなど、たくさんのお話を話すことができ、打ち解けることができました。

リアルな体験

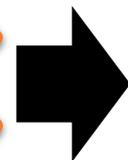


リアルな交流



SDGsの理解

親睦と相互理解



両市の未来を
思う心

【今後】

- ・学んだことを各自が生徒会活動等で還元
- ・教育フォーラムで成果の発表 (1月27日)